

## 平成 30 年度第 1 回唐津市有線テレビジョン放送番組審議会議事録

1 日時

平成 30 年 10 月 29 日（月） 午後 1 時 55 分～午後 2 時 55 分

2 場所

唐津市役所本庁 議会棟 1 階 第 2 委員会室

3 出席した委員 8 人 （敬称略）

落合正利、田代恒雄、岩本喜代美、中村隆、松金恒雄、林田光子、山本弥生、  
溝江敏子

4 出席した事務局職員 4 人

政策部長 脇山 秀明

市政広報課長 藤田 千穂

市政広報係長 萩原 ひとみ

市政広報係 小宮 弘武

5 議事の経過と発言者の発言要旨

別紙のとおり

発言者	内容
<p>司会 (萩原係長)</p>	<p>少し早いですが、始めさせていただいてよろしいですか。  時間には5分ほど早いですが、始めさせていただきたいと思います。  ただ今から、平成30年度第1回唐津市有線テレビジョン放送番組審議会を開催いたします。  委員の皆様には、ご多忙の中、ご出席いただきましてありがとうございます。  本日司会を務めます、市政広報課の萩原でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>審議会に入る前に脇山政策部長がご挨拶を申し上げます。脇山部長よろしくお願いいたします。</p>
<p>脇山政策部長</p>	<p>皆さんこんにちは。政策部長の脇山でございます。本日はお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。  また委員の皆様にはチャンネルからつをはじめ市政の広報、また市政全般にわたりまして日頃から、ご尽力、ご協力を賜っていることに対しまして厚く御礼申し上げたいと思います。</p> <p>すでにご承知のとおり、チャンネルからついわゆる行政放送を持つ唐津市といたしましては、日々よりよい番組作りにむけて尽力しているところではございますが、まだまだ創意工夫、力不足も感じてございます。この番組審議会は、年に1度、皆さまからご意見を伺う貴重な機会でございますので、本日は様々な視点から忌憚のない率直なご意見を伺いたいと考えております。そして今後の番組の充実につなげていきたいと思っております。</p> <p>本日は、審議に先立ちまして、会長の選任も予定いたしておりますので、限られた時間ではございますが、ご審議、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。座って説明させていただきます。</p>
<p>司会 (萩原係長)</p>	<p>議事に入ります前に、委員の辞任にともないまして委員の交代がございましたのでお知らせします。会長でありました松永委員が7月24日をもって唐津商工会議所の副会頭を退任されたことに伴い、委員を辞任されたので、新たに同じく唐津商工会議所の副会頭であります、落合正利様に委員に就任していただいております。</p> <p>次に委員の出席状況です。  井上委員、打越委員、畑村委員は欠席のご連絡をいただいております。本日の委員の出席は8人でございます。</p> <p>本審議会の全11人の委員のうち2分の1以上の委員さんが出席されていますので、審議会条例第5条第2項の開催要件を満たしてい</p>

発言者	内容
	<p>ることを報告いたします。 議事に入ります前に、本日の会議の議事録署名人について、1名選出が必要ですが、どなたかお申し出、ご推薦はございませんでしょうか？</p> <p>《意見なし》</p> <p>ないようでしたら事務局の提案ですが、これまでの会議では名簿順にお願いをしております、前は相知地区の田代副会長にお願いをしております。 今回は北波多地区の山本委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>《異議なしの声あり》</p> <p>それでは、今回の議事録署名人を山本委員にお願いしたいと思えます。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、これからの議事につきましては、議長は会長に務めていただくこととなっておりますが、先ほどお伝えしましたとおり、現在会長が不在となっておりますので、唐津市有線テレビジョン放送番組審議会条例第4条の規定によりまして、副会長に務めていただきたいと思えます。田代副会長に一言ご挨拶いただひて、そのまま議事進行をお願いしたいと思えます。田代副会長よろしくお願ひします。</p>
田代副会長	<p>それでは改めて今日はお疲れさまです。先ほどお話があつたように元会長の松永さんがご卒業されたということで、私も大変残念に思っております。</p> <p>副会長の挨拶ということなんですけど挨拶べたなんですすぐ審議に入りたいと思えます。</p> <p>隣が寂しいので、私も座らせていただひて審議に入らせていただきたいと思えます。</p> <p>まず始めに、議事の1番目にあがっております会長の選任について行いたいと思えます。 唐津市有線テレビジョン放送番組審議会条例第4条の規定によりまして、委員の中から互選をするということになっております。 委員の皆さまにお諮りいただきたいと思えます。会長の選出についていかがでしょうか。どなたか、ご意見ございませんでしょうか。</p> <p>《意見なし》</p> <p>ないようでしたら、事務局から説明をお願いします。</p>

<p>事務局 (萩原係長)</p> <p>田代副会長</p>	<p>はい、事務局からの提案ですが、会長に落合正利委員を事務局案としてご提案申し上げます。</p> <p>《拍手あり》</p> <p>私が言う前に拍手がありましたので、異議なしということで会長に落合委員をお願いしたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>落合会長は、空いてますので前の会長席に移動をお願いします。それでは、これからの議事進行につきましては、落合会長をお願いしたいと思いますので、まず落合会長に一言ご挨拶をいただきまして、そのまま議事進行をお願いしたいと思います。落合会長よろしく申し上げます。</p>
<p>落合会長</p>	<p>それでは皆さん、こんにちは。会長ということですが、仕事は唐津信用金庫の理事長を今年 6 月に松永と交代いたしましたので、その続きというか商工会議所の副会頭ということも引き続きやることになりましたので、こちらへは商工会議所の関係で派遣されました。放送というかこういったところは、専門外なのでなかなかわかりませんが、行政放送というものの役割には大変大きなものがあります。皆様からご意見、ご指導をいただきながら務めさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、議長を務めさせていただきます。座らせていただいて進行したいと思いますが、議事の「(2) 放送番組について」事務局から説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局 (小宮)</p>	<p>《資料 3 ページから 7 ページの概要を説明》</p> <p>最後に、別紙でお配りしています、審議会での主な意見に対する対応について説明させていただきます。</p> <p>平成 23 年から昨年の審議会の委員の皆さんから出された意見とそれに対する対応を一部ご紹介しております。</p> <p>前回の審議会でもいろいろなご意見をいただきまして、その中から主なご意見 2 つについてご報告をさせていただきます。</p> <p>番組の中で、佐藤和哉さんの曲を流す時には名前を表示したらどうかというご意見がありました。それに対する対応ですが、曲を使用する際には佐藤和哉、今は唐津観光大使になられていますので、(唐津観光大使) というような表示をするように改善いたしました。</p>

	<p>続いて、「市役所の紹介や市民センターの職員を紹介する番組がつかれないか」というご意見に対してですが、まだ番組作成というところまで至っておりませんが、今後本庁舎が新庁舎になりますし、市民センターも改築がありますので、その時に紹介できるような番組がつかれないかと考えています。</p> <p>また、火曜日のニュースの後に、職員が出演して様々なお知らせをする「市からのお知らせ」コーナーでは、本庁の職員だけでなく市民センターの職員にも積極的に出演をしてもらおうようにしております。</p> <p>今後も番組審議会の中で出された意見の中で、取り入れることができるものについては、検討して今後の業務に反映していきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。</p> <p>私からの説明は以上です。</p>
<p><b>落合会長</b></p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に先日、審議会の開催の通知、ご案内と一緒に番組のDVDを送付していましたが、そのDVDをご覧になられて、または日頃チャンネルからつの番組を見てからの番組内容について委員の皆さんからのご意見をお願いしたいと思っておりますけど、これは番組ごとにですか。まずは、週間ニュースからご意見お持ちの方。</p> <p>私も実はチャンネルからつはあんまり見ないので、初めて時間をかけて見させていただくと、正直、見はまるというかなかなかのものだなと思って見ました。特にニュースの中では商売柄ですけど消費生活センターからのお知らせですね、ニュースの最後にありましたよね。我々が今かなり苦労しているのが、振り込め詐欺であるとか、架空請求であるとか、こういったものの対策を我々の窓口でもだいぶ気にかけているんですけど、この番組を見て、きちんとこういったものへの対応策をお知らせしているというのを初めて知ったんで、かなりいいことをお知らせしているなと感じました。</p> <p>ただ、どうしてもテレビで<b>12</b>チャンネルを見る機会が少ないので、しかもそのほかのおもしろい番組を見がちなので、これをしっかり見るということがないので、気づかない。有益な情報は放送してあるんだなと。今年はやっぱり災害で避難指示が唐津市で初めて全域に出たということで、防災のところはかなり見るようになったんで、まとめていうと、意外にいいなと思いました。どなたかご意見おありであれば。</p> <p>もう<b>1</b>つ思ったのが、ニュースは、ぴーぷる放送さんとだぶるんじゃないですかね。<b>11</b>チャンネルは<b>12</b>チャンネルより相当見ます。そっちの方のニュースとほぼだぶりがあのかなという気がします。ただ地域の情報としては非常に発信されているなと感じました。</p>

<p>事務局 (藤田課長)</p>	<p>おっしゃるとおりで、ニュースは、ぴーぷる放送さんとどうしても地域のニュースですのでかぶってくる分は多いのですが、先ほど会長が言っていた、消費生活センターからのお知らせのような番組こそ行政が市民の皆さんに見ていただくために取り組む番組だと思っています。ただ、それだけだとどうしてもそれを見ていただくということにはつながらないので、木曜日のニュースの後に流すことで、ニュースで子どもさんの魚の放流とかがあった時には親御さんやご家族の方に見たいいただいた流れで見ただけのようにと考えています。</p> <p>どうしてもニュースというのは多くの方に見ていただく大きな番組ではあるので、ぴーぷる放送さんとどうしても重なる部分はあるんですが、そのボリュームも考えながら放送しているところではあります。</p>
<p>落合会長</p>	<p>副会長さんからずっとご意見あればお願いします。 私はこの会議は初めてですけど皆さんは2回目ですかね。</p>
<p>事務局 (藤田課長)</p>	<p>2回目ですね。</p>
<p>落合会長</p>	<p>2回目で言い尽くされたということはないですよ。</p>
<p>岩本委員</p>	<p>私からいいですか。明治維新 150 年特別企画の明治維新と唐津っていうのをもちろん全部見たんですけど、金嶽前部長と井上前部長のくさい芝居にひきつけられて見ました。だんだんおもしろくなったところで終わって結局この続きは放送してあるんですよ。これは実際どこがつくられたんですか。</p>
<p>事務局 (藤田課長)</p>	<p>チャンネルからつでつくりました。</p>
<p>岩本委員</p>	<p>そうなんですか。なんかすごく画期的な企画だなと思いました。</p>
<p>事務局 (藤田課長)</p>	<p>明治維新 150 年事業を今年県としていて、唐津市としてどういうことができるかと考える中で、番組を作り唐津ではどのようなことがあったのかを掘り下げて作りたいということで作りました。</p>
<p>岩本委員</p>	<p>ああいう風に作ってもらえると興味深く見られるなど思いながら見ました。</p>
<p>事務局 (藤田課長)</p>	<p>ぜひ、第2部もユーチューブでホームページの方から見れるようになっておりますので、第2部の方が感動的な内容になっていると思いますので、ぜひご覧ください。</p>

落合会長

中村委員さん、なにかありますか。

中村委員

本来、行政放送というのは、行政の在り方を外側に向けるという役割が1つと、もう1つは正確に伝える、分かりやすく伝えることが大前提なんですよ。それで皆さんに視聴習慣をつけていただいて、1番大切なのはやっぱり防災の時に、もしくは困ったときにチャンネルをあわせてもらえるというところが、ですから今目的がそういう目的が大前提としてあって、そのためにはやっぱり見てもらう方法、手法を考えていかないといけないということで、多少本来ならおもしろくする必要はないというところはあるんですけども、やっぱり人の視聴を引き付けるためには、もしくは視聴習慣をつけるためには、ちょっと崩れたりとかおもしろくやったりとか、今国営放送でも多少おもしろく見てもらおうという方向に進んでいますので、ただ、やはり線引きは必要だと思うんですよ。

おちゃらけたチャンネルではないということは、民放ともしくは違うチャンネルと区別をしていかないといけない、特にバラエティではない、教養番組ではないというところを番審委員の皆さまにも分かっていたきたい。1番検討するのはですね、見てもらうためにはどういう方法があるのかというのを各地域から出席されていますので、これから高齢化が進んでいくと、今まではテレビは片方向、一方方向からずっと情報を出して、これを見てくださいというのが、dボタンを押してというふうに双方向になって、操作が出てくる。非常に難しいテレビの視聴になってきていますね。

ここに書いてありますように、dボタンを押してその先まで行けるけれども戻れないというのがよくあるんですよ。だから戻れなかったら不安になるからやらないんですよ。この辺のところもですね、行政も我々もそうなんですけど教育をしていかないといけないと思っています。操作方法は簡単なんですけどなかなかdボタンを押さないですよ。嫌ですよ、分からなくなるのは。原因としては分かっているんですよ。ですから、この辺は慣れていただくしかないということです。

1番はですね、戻ることができないというのが結果で出てるんですよ、これは全国です。ですから小さな町、自治体としてはですね、テレビの操作方法とかいうものまだ間に合うんじゃないかと思えます。書いてあるように、dボタンを押してゴミなど天気などを見てらっしゃる方が今少ないような気がするんですよ。60代から上ですね。その方はほとんどあの機能を使っていらっしゃらないですね。慣れると戻ることも簡単なんですけど、少し教育とか、ちょっとした楽しみながらの勉強も必要かなと考えています。

落合会長

いかに見てもらうか、こういった時には必ず12チャンネルを見ると大丈夫だというようなことの周知が必要かなと感じました。

落合会長	松金委員さんどうですか。
松金委員	<p>今言われたとおりなんですけど、基本的には視聴率はとる必要はないですから、たくさんの人に見てもらいたいと思うんですけど、数字で表すわけではないわけですから、要は生活のために役に立てる、困ったときにどうしたらいいのかということが行政の役割だと思います。先ほど言われましたとおりバラエティとかそういうものは必要ないですし、だけど地域の中で何か起こったことがありますよね、例えばさっき言われたんですけど、今お相撲さん来ると、こういうのをね、意外と知ってて知らないことが多いんですよ。琴歐洲が来てるのはうちの近くなんですけど、浜崎に来てるんですけどね、そういうことを今やってるよと、九州場所がありますからね。そういうことをお知らせしてあげると、先ほど会長さんが言われましたように私もほとんど見てませんから、基本的には。</p> <p>ではなんでかという、そればかり見ているはずはないですよ。当たり前なこと、普通のテレビ見ながら、あんなかあったとか、火事が起こったのはどこかというときに見るのが普通だと思うんですよ。災害が起こったときどこがどうなっているだろう、さすがにNHKの東京の方では、唐津のどの辺がどうなっているなんてことは教えてくれませんから。だからどうなったかを知りたいということでもありますので、だからそういう意味ではたんたんとやったらいいと思いますんで、やるべき基本的なことをやっていけば僕はいいと思います。何かのときにお役に立てればいいんじゃないかなと思います。</p> <p>ただ先ほどちょっと言われたとおり工夫は作る方としてはなんだかの工夫をしないと進歩しませんから、ただ単に流せばいいやということだったら何の意味もないんで、やっぱり作る方はなんとかこう、見てもらうような工夫を少しでも1つでも2つでも考えたらいいと思うんですけどね。だからといって見てもらえなかったらだめだということじゃないわけで、その辺さえはっきりわかってらっしゃれば何のためにこの放送はあるのかということさえ分かれば、本当に困ったときに見ます。火事が起きたら最初に見ますね。うちの近くで火事、どこなんだとって見ます。そこが大事なんじゃないかなと僕は思っています。</p>
事務局 (藤田課長)	<p>今のご意見は私たちにとっては嬉しいご意見で、おっしゃるとおりですね、そういう火事だったりそれこそ先ほど会長さんだったり中村委員がおっしゃったとおり災害の時には確認をしてみるというような習慣づけを、市民の皆さんにしていただけるように周知とか見ていただける工夫を今後もっと考えていかないといけないと思いました。ありがとうございます。</p>
落合会長	見てもらうための工夫についてご意見はございませんか。



<p>松金委員</p> <p>事務局 (藤田課長)</p>	<p>タレント使うとかね。まあ冗談ですけど。できたら例えばさっき名前を出した琴歐洲さんとか来てるわけですから、そういう人を出しても問題ないわけでしょう。せっかく来られてるんだからお相撲人気は結構あるわけですから、さっかくでするので取材してあげた方がいいんじゃないかなと思いますし、この辺出身のプロ野球選手もいるわけでしょう。そういう人も使えばいいし、やっぱり有名な人って地元のためになにか役に立ちたいって思ってるんですよ。そういうのをうまく工夫をして、上層部からぼんときて取材してという風にやっていただくといいんじゃないですか。そうすると見てくれる人も出てくると思いますよ。</p> <p>貴重なアイデアをありがとうございます。</p>
<p>落合会長</p> <p>林田委員</p>	<p>林田委員はなにかご意見ありませんか。</p> <p>私は見させてもらいましたけど、すばらしい番組ができてるかなと思いました。消防のコーナーもですね、的確に放送されておりました。私だけかなと思いましたけど、幕末の明治維新 <b>150</b> 年 P R 動画は、知った人が出演されていれば楽しいと思いますが、私たちは直接知らないからですね、その番組はお城の風景なんかを映してドキュメンタリー番組みたいに流してもらった方がいいかなと、私たち旧郡部のものはやっぱり中心部の風景を見たいなと思いました。</p> <p>先ほどおっしゃったけれども、巖木は急速な高齢化で独居老人も <b>1</b> 番多くて高齢者が多いんですね。やっぱり緊急の場合ですね、d ボタンの使い方とかなんとか若い人がいれば、天気がどうやろうという時に d ボタン使えるけど、年寄りだけだったら右往左往しながら、どうしようどうしようっていう感じで情報があんまり入らない。だから先ほど言われたとおり、d ボタンの使い方をゆっくりテレビで、こんな風ですよとお年寄りに分かるような指導というかニュースを流していただいたら助かるかなと思いました。今年巖木も災害があって天川とか山の辺が孤立したって言われるんですよ。携帯の電波が天川とか平之は届かなかったと言われたから、そういう時はやっぱりテレビで分かる天気予報なんかが助かるかなと思いました。</p>
<p>落合会長</p> <p>山本委員</p>	<p>山本委員なにかありますか。</p> <p>ちょうど見る時間に見たい番組があってなくて、<b>11</b> と <b>12</b> チャンネルはかけはするんですけど、今回ニュースから見て市長が災害現場を視察に行きましたというのを見て、こんなにひどかったんだと、テレビとかあの時ずっと見てたんですけど実際あそこまで現場によった画面とか見なかったからですね。視察に行かれたのが次の日なのか、そこらへんは曖昧ですけど、例えばああいうのをなるべく早めに、唐津だから <b>1</b> 番近いからですね、災害のときに市長が行った</p>

んじゃないくて、災害ですよということで流されたのかなと思ったのが1つですね、その時に私は災害が起きてNHKくらいしからいしか見てなかったの、災害が起きたらチャンネルからという風になればね、もっときめ細かい地域のことが分かるかなと思ったのが1つです。

放送の仕方というのは、確実になければならないというのはわかりますが、皆さんに近場の強みっていうかそういうのが伝わればいいな。そういう風な番組を作ってくださいなと。それと、維新のはおもしろかったです、私は。あのシリーズなんか他にも見たことがあって今回見て、次があるんだって見て、その前にニュースの中か何かでユーチューブで見られます、週間ニュースも見られますというのを見て、ああそうなんだと思って早速アクセスしてスマホで見て、ああこうやって見られるとわざわざテレビをつけてじっと見なくても、時間があるときに唐津でどんなことがあってるだろうと見ることできるねと。

それとユーチューブで第2部も見て楽しかったです。私は、ちょうど「西郷どん」も一生懸命見てるので、だいぶ前に放送された、それにちょうどかかわっていて、今見てもタイムリーで唐津にいながら知らなかったというか、家族でそういう話をすると話題になるんじゃないかと思います。唐津藩がどう動いたとか。すごく分かりやすく、私自身は、このシリーズやってもらいたいと、たぶんまだ知らないことってたぶんあると思うんですよね。歴史のかたい話では入ってこなくても、本当に身近で分かりやすかったです。

そして、先ほどおっしゃった「詐欺に注意のお知らせ」ですけど、こういうのもちゃんとやってらっしゃるなって思ったけど、「わぁ硬いね」と思って、文字だけだったのかな。例えば悪い人がにやっとする、バラエティ番組みたいなやり方しなくてもいいけど、もう少しぱっと見て分かりやすいような画面の作り方というか、ずっと文字だけで流してあったんで、大きく書いたりそういう工夫はあったんですけど、そのくらいしていいんじゃないかなと思って見ました。だんだん進化してよくなってるなと思って、DVDを見て思ったことです。

私がたまたまつけた時に、今でも「弾道ミサイルが飛んできたら避難しましょう」というのをよく見るんですね。今でもこれは必要かなと思ってしまって、それは政府とかそういうところから来てるかもしれないけれども、今も必要なのかなと疑問に感じていました。

事務局  
(藤田課長)

まず災害の時、市長などが視察に行ったのは、たしか金曜日が災害で、土曜日の朝に行きました。取材をずっと回って、放送したのが月曜日のニュースなんですね。どうしても土日はニュースの放送がないものですから、最短で月曜日に流したということで、実際の金

<p>落合会長</p>	<p>曜日の災害時にはですね、外に出てそういう状況取材するということが、行政の放送だとできなくてですね。</p> <p>それよりもまず、市民の皆さんに避難してくださいとか、避難指示が出ましたというお知らせで手いっぱいとかスタッフもいっぱいな状態ですので。ただ、今いただいたような速報性とか、災害でどのくらい被害があったかというのを市民の皆さんに 1 番に市内の状況を伝えるという意味では、行政放送の役割は大きいので、早くなんとか出せるようにしていきたいと思っています。</p> <p>それと、消費の分は、おっしゃるように同じ振り込め詐欺であったり、だんだん変わっていくんですが、パターンのには似たようなものになるので、もう少し見てぱっとわかるような動画じゃないですけど、文字だけでなく見た感じで緊迫感が伝わるようなものを準備しておいて、週に 1 回木曜日の放送ですので、それに向けて作りためておくという準備もできるかなと、今意見を聞きまして思ったところでした。ありがとうございます。</p> <p>被害額って全然沈静化せずに拡大する一方なんですよね。我々も警察とよく会議があるけれども、警察と連携して防げる件数も上がっていますが、それ以上に被害の拡大が大きいので、たぶん今老人の方だけではなくて、いろんなことで、架空請求みたいなこともあってるので、案外身近に発生する可能性は多いので、ああいう啓発、啓蒙番組はいいなと思いました。</p>
<p>落合会長</p> <p>溝江委員</p>	<p>溝江さんはいかがですか。</p> <p>私も意外と放送を去年委員になってから、そのときは見ようと思って帰ったんですけど、結局はこの 1 年間あんまり見てないなと感じています。この間七山の方も災害があってですね、土砂が入ってきたのを、DVD を見て、あっそうだったんだと、あつたのは知ってたんですけど、そういう放送があつたのを分からなくて反省しました。</p> <p>見るようにしようと思っているけどなかなかそこまでいかない、d ボタンなんかもあんまり操作の仕方も分からないんです。</p> <p>主人がいるときは見てるんですけど、私だけのときは分からないからもうやめようとか。</p>
<p>落合会長</p> <p>田代副会長</p>	<p>田代副会長さんなにかありますか</p> <p>言い尽くされました。やっぱり聞いてたら d ボタンの操作に関して話が出てましたんで、文字よりも動画ですよ。動画で寸劇でいいので、部長さんはじめ出させていただいて、やっていただければ。部長さんをテロップで大きく出していいと思いますよ。そういう感じで、親しみやすくもなるし、操作の仕方もできるし、また先ほど</p>

	<p>言われたとおり、どうしても見てもらうためにはタレントさん使ってもいいと思うんですよね。せっかく唐津からも有名な方というか若い方もどんどん出てますし。そういう方のPRも兼ねて上手い具合にリンクできれば唐津の情報も全国に行くし、全国の情報もこっちに入ってくるし、そういう風なリンクの仕方もおもしろいと思います。</p> <p>まず、見てもらう、操作してもらう、そこをもう1回基本に戻って、内容はどうしても先ほど言われてましたように、民放みたいに出せないんでどうしても行政という形の枠の中で出さなければいけない、そこは難しいと思いますけど、情報としては災害の情報は必ず見るし、おくやみなんかも必ず見させてもらってますし、ポイントポイントで皆さん違うと思うんですよ、そのポイントをうまい具合に捕まえてそこを広げていけばまだまだおもしろい発信源ができるのかなと思います。</p> <p>※おくやみ：行政放送では放送していない</p>
脇山政策部長	<p>会長いいでしょうか</p> <p>先ほど田代副会長の方から部長がテレビに出るという話がありましたが、以前にですね、唐津市が合併してしばらくたってから、年度当初に各部長がその年度の主な事業について説明をいたしておりました。これは2、3年ですね、19年から22年まで。終わった原因はよくわからないですけど、あんまり評判がよくなかったんでしょうかね。部長があんまり言うとな行政的な伝え方になってしまうので、できたら若手の職員が何人か交代で話をする方が、キャスターを明るく見たくなるような明るい話し方にするというようなご意見につながるのかなという印象を今持ちました。</p>
田代副会長	<p>私は寸劇みたいな、そういうおちゃらけしたようなところで、トップの方が出てもらって。</p>
脇山政策部長	<p>そしたら、検討しましょう。</p>
田代副会長	<p>よろしくお願いします。</p>
脇山政策部長	<p>それとですね、今委員さんの方からありましたが、私を含めてなんですけど、あんまり見ていないというご意見が大半でございました。これは、よしとするのかもっと努力が必要と考えるのか2通り私はあると考えております。例えばこれがあんまり見なくてもですね、市の情報は伝わっているということであれば、市報のほうで十分ある程度の補完ができているということかなと思いますし、ほかの媒体につながっていった特にチャンネルからつを見なくても市民の方はある程度の情報が伝わっているという解釈が1点あるかと思えます。</p>

	<p>もう1つがですね、そうではなくて伝え方にもう少し工夫が必要ではないか。知らない情報もあるんで、チャンネルからつをつける機会を市民の方がされていないではないか。この2つで考えた場合ですね、やはり私は後者のほうをもうちょっと研究すべきではないかということで、その辺については、工夫をさせていただきたいというふうに思いました。</p>
<p>中村委員</p>	<p>この地域が高齢化になっていくにつれてですね、テレビも大事なんですけど、先ほど言ったようにコミュニティが無くなってきている、コミュニケーションを含めて、近隣がものすごく希薄になってきている、高齢化になっていくと。その時に、守るのは自分だということ意識づけさせないといけないということはあると思うんですね。振り込め詐欺の1番の要因はですね、別にこの地域が1番高いとかいう地域性じゃないんですね。親子のコミュニティ、この不足がですね、ものすごく激しい地域なんですよ。</p> <p>やっぱりこうなかなか親子同士、特に男同士の親子なんかは非常に難しい関係にあるんで、言葉が少なかったりするんですけど、振り込め詐欺が来た時には「こうですよ、ああですよ。」という家族内のコミュニティを持たせるような考え方も必要じゃないかなと思います。最近民放で振り込め詐欺とかの番組を見た時に再現シーンに必ず家族が入ってくるように変わったんですよ。これはどういうことかということ、身近な人が啓発、啓蒙しないと社会や地域で啓蒙してもなかなか近づいてくれんですよ。だからもう1つ掘り下げるとですね、やっぱり地域のコミュニティであるとか、家族のコミュニケーションであるとか、そういうのも必要になってくるんだろうなと思っています。</p> <p>もう1点は先ほど山本委員が言われたとおり、行政放送は事件事故を扱う放送ではないんですよ。ですから迅速性が必要と言われるんですけど、現場に入ることができないんですよ。怪我を負うような報道番組とか報道スタッフではないんですよ。事後でもここはこんなにひどかったんだ、七山もひどかったんだと事後でも伝えることができた、行政側から情報を伝えることができた、気を付けてください、まだここは通れませんよというのが伝えればいいと。</p> <p>冒頭に言った、だんだん考え方は民放側に寄って来るんですよ。そうではないんですよ。タレントもそうなんですけど、どんどんエスカレートするのは間違いないんですよ。そこを委員さんは線を引いとかなないと、どんどんNHKや民放のようになっていくんですよ。この辺を理解して一人でも自分が守れるようなチャンネルもしくは行政放送になっていくのが理想なんですけど、なかなか難しい。難しいというのはなかなか見てもらうことが難しい。努力はしているんですけどね。なかなかですね。</p>

<p>事務局 (藤田課長)</p>	<p>テレビを見る時間が少ないですよ。そんなに見ないですよ。決まった例えば「西郷どん」は必ず見るけどほかの決まった番組は見ないですよ。そういう中でチャンネルを合わせてもらうというのはものすごく難しいというのがあるんですよ。でもこれは粘り強くやっていく、チャンネルがあるかぎり粘り強くやるしかないんですよ。</p> <p>ありがとうございます。</p>
<p>岩本委員</p> <p>事務局 (藤田課長)</p>	<p>今話を聞いてた中で、私はもともとテレビはあんまり見ないので、うちに1人暇人がいて、割と行政放送もよく見てるんだなと思いました。うちは割と見てる方だなと思いました。</p> <p>特に今年の雨の災害があったときはよく頑張っておられたなと私は思いました。避難所なんかは何人避難していますという情報もちゃんと出て、あそこの公民館に何人行ってると主人と言って、みんな行っているよと言ってずっと見ていた。だからよく頑張っておられたなということを書いたかったので、一言言わせていただきました。</p> <p>ありがとうございます。</p>
<p>落合会長</p> <p>山本委員</p> <p>事務局 (藤田課長)</p> <p>山本委員</p>	<p>週間ニュース、消防本部、明治維新と順番に行こうと思ったらだいたい意見が出ましたが、3つの番組についても一言とかご意見をお持ちの方いらっしゃったらお願いします。</p> <p>ユーチューブで見られるんだ、唐津公式チャンネルがあるのは知らなかった。私は、これを見たので分かりますけど、テレビを見ない人のためにもチャンネルからつの番組表のどこかに書いてあると、若い人はもしかして見るかもしれませんし、スマホで見れるなら気楽に見れるなど。</p> <p>もっとそういうPRも必要ですね。</p> <p>そうですね。やっぱり何でもPR、周知、お知らせだと思うんですよ。イベントするにしてもなんにしても。この間北波多でイベントがあったんですけど、北波多の人さえ知らなくて、すごく悲しかったから、何にしてもお知らせすることですよ。テレビを見てほしいってテレビで言っても見る人が最初にチャンネルを付けなければ見られないから、それ以外の媒体でお知らせしてもらいたいかなと思います。</p>

<p>事務局 (藤田課長)</p>	<p>おっしゃるとおりです。そういった周知もですし、さっき言われたdボタンの操作方法とか、操作の周知というところもですね。実は番組の中でも簡単にはしたことは何回かあったんですが、林田委員がおっしゃっていただいたようにですね、番組の中でもっとじっくりですね、部長なりに出ていただいて、そういったおもしろさも少しずつ考えながらですね、ただバランスはですね、皆さんおっしゃっていただいたように行政放送の本質はどういうところかというところだけは、間違えないようにおさえながら、部長申したとおり、もっと見ていただくための工夫を考えていきたいと思いました。</p>
<p>中村委員</p>	<p>地域審議会っていうのはまだあるんですか。民生委員会はまだあっています？このあたりの組織を活用、協力いただいて、末端までいくようなチラシひとつでもいいでしょうし、例えば時間かかりますけど説明会でもいいし、なかなか個別でやろうとしても集まらないですからね。ちょっとでもやっていく方法もあると思うんですよね。</p>
<p>事務局 (藤田課長)</p>	<p>実際にその会場におじゃやましてでも、ですね。</p>
<p>落合会長</p>	<p>違う観点からですが、ぴーふるさんの11チャンネルと12チャンネルと2ついるのかなど。見る工夫っていうと11チャンネルの中に行政の広報の部門を入れるとか。そういう話もちらっと聞いたことがあるので。</p> <p>そうすると、ぴーふるさんはよく見るので、その中に本当の大事なコンテンツを入れて、市役所コーナー、市の広報コーナーを必ず入れると。あとはデータ放送とかで必ず必要な情報とかを出すとか、というような発想もあるように聞きましたが、どうなんでしょうか。難しいですかね、民間と行政とだと。</p> <p>中村委員</p> <p>県内ほかのところも、1つのコミュニティチャンネルと行政放送が一体化しているところもたしかにはあるんですよね。その中で行政放送やっていこうとしたときに、正確に分かりやすくやるというチャンネルの特徴が無くなってしまふ、コミュニティチャンネル、ぴーふるを半分で、残りを行政放送にした場合ですね、非常に難しいと。その間に民間側よりのものがあるとまた行政としては困る。あとは広告の問題もあるんですよね。広告がつくと実は行政放送にもつくような形になるんですよね。だからこの辺の区分けをですね、やらないといけない。</p> <p>もう1つは、今後通信、今ユーチューブに載せて簡単にやってますけども、行政放送は脇山部長さんたちが出られた分には個人的にいいですよという形なんですけど、これが他の人が映っていて、無造作にインターネットで公開するとですね、全体が無造作になるわけですね、個人のもものは公開しても他の人は出てらっしゃらないんでいいんですけども、通行人1人にしても、肖像権の問題で突き上</p>

<p>落合会長</p>	<p>げられる可能性が非常に高いというのがあるんですね。この辺が何でもかんでも通信でユーチューブであげていい、特に行政が絡むとですね、難しいかなと思っています。ちょっと気を付けた方がいいかなと思いますね。</p> <p>あくまで視聴者サイドから見た時は、そっちの方がよく見るかなという気がするので、やる方でいろいろと問題はあるでしょうけど。我々金融業界もそうで、お客様目線かどうかが大事で。そこら辺は、少し感じました。</p> <p>ほかのご意見、言い足りないとかないでしょうか。</p> <p>無いようであれば、事務局の方にお返ししてよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局 (萩原係長)</p>	<p>落合会長ありがとうございました。</p> <p>それでは、これもちまして平成30年度第1回の唐津市有線テレビジョン放送番組審議会を終了させていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">午後2時55分終了</p>